

## (3)応募

整理番号	応募者									
	氏名	職業	年齢	性別	経歴(農業関係)		農業経営の状況		応募する地区	応募の理由
					期間	名称	當農類型	耕作面積(アール)		
1	守分 勇馬	会社員	35	男	H24.4.1～R6.30 R6.7.1～現在	全国農業協同組合連合会広島県本部 けわりも農店 代表	自家消費	—	西条町第5	全国農業協同組合連合会広島県本部に12年所属し、園芸作物と水稻の営農指導を行ってきた。 その中で、農業に関する知識を学んだ後に、独立し、生産者専門の何でも屋として、資材の調達、流通のサポート、農産物の販売を行っている。 今回、東広島市の農業活性に係る手伝い(耕作放棄地の減少や新規就農者がスムーズに農地取得でき、1日でも早く農業を始められる環境整備)ができたらと思い、応募した。
2	神田 悅子	農業	76	女	R2.6.2～現在	農地利用最適化推進委員	果樹・花き	75	黒瀬町第1	令和2年から農地利用最適化推進委員として活動してきた経験や地域を生かし、女性の視点から地域農業の活性化に貢献したい。
3	福光 政憲	農業	80	男	S39.4.1～S49.3.31 S49.4.1～H21.3.31 H26.6.1～H29.5.31 H29.6.1～現在	広島県職員 豊栄町・東広島市職員 農業委員 農地利用最適化推進委員	水稻 露地野菜	29	豊栄町第1	現在、多くの地域で農業者の高齢化・後継者不足、耕作放棄地(遊休農地)の増加など様々な問題がある。 これらの解消のためには認定農業者や新規就農者発掘や農業法人の設立(農地の集約化)など、さらなる推進を図る必要がある。 これまでの経験を活かしてこれらの先導的な役割を果たし、地域農業を守りたい。

## (3)応募

整理番号	応募者									
	氏名	職業	年齢	性別	経歴(農業関係)		農業経営の状況		応募する地区	応募の理由
					期間	名称	當農類型	耕作面積(アール)		
4	井上 和則	農業	69	男	H28.8.1～R4.3.31 R4.11.22～R5.12.31 R5.6.1～現在	広島県農業技術センター果樹研究部 芸南農業協同組合 農地利用最適化推進委員	露地野菜 果樹	11	安芸津町第2	令和5年に初めて農地利用最適化推進委員の委嘱を受け、これまでその職責を果たすべく努力をしてきた。 今期の残任期間も全力で取り組むとともに、今一度、農地利用最適化推進委員の役割を再認識し、これまでの知見、経験を活かし、地元農業の一助となるよう、次の任期も引き続き取り組みたい。
5	笠崎 靖	市放課後児童支援員	68	男	—	—	—	—	高屋町第4	会社員を39年間勤め、現地調査、法務局での公図謄本調査や調査結果の整理と検証及び分析、各戸訪問と打ち合わせ等を実践してきた。 農業への興味もあり、中でも遊休農地での若者によるポップ栽培からのビール作りに関心がある。 本年は国勢調査員も経験し、農家の方々とも散り合うことができ、地域への関心も高まった。 以上の経験を活かして高屋地区のために少しでも農業の活性化に繋げていきたい。
6	岡田 博陽	農業	77	男	R2.6.1～現在	農地利用最適化推進委員	水稻 露地野菜	22	黒瀬町第4	不作付地への営農者確保を第一目的とし、兼業農家の後継者育成を行いたい。

## (3)応募

整理番号	応募者									
	氏名	職業	年齢	性別	経歴(農業関係)		農業経営の状況		応募する地区	応募の理由
					期間	名称	當農類型	耕作面積(アール)		
7	尾張 照司	農業	71	男	S63.4.1～H26.3.31 H29.10.1～現在 H28.4.1～現在 R2.6.1～現在	JA指導員 東広島市地域農業推進指導員 NOUSAI広島共済委員 農地利用最適化推進委員	水稻 露地野菜	200	西条町第7	昨今、急速に営農継続が様々な要因により困難となっている状況が発生している。 その状況に対し、農地所有者と就農者のつなぎ役となるよう、地域情報の収集等、課題解決に向けた一助となるよう頑張りたい。
8	本城 克之	農業	68	男	H12.4.1～現在 R5.6.1～現在	就農 農地利用最適化推進委員	水稻	250	西条町第4	地域農業の持続に貢献したいという思いから農地利用最適化推進委員として活動したい。 耕作放棄地への不法投棄や水管理の困難さから農地維持の困難さを実感してきた。 今後は、地域の皆さんと協力しながら耕作放棄地の解消、ひいては農地の集積・集約化に取り組みたい。
9	綿芝 清志	農業	74	男	R5.6.1～現在	農地利用最適化推進委員	水稻 露地野菜	84	高屋町第2	—
10	平田 素文	農業	73	男	—	—	水稻	18	河内町第3	地域の農地利用最適化推進委員に勧められたことと、地域に貢献したいと考えていたため。

## (3)応募

整理番号	応募者									
	氏名	職業	年齢	性別	経歴(農業関係)		農業経営の状況		応募する地区	応募の理由
					期間	名称	當農類型	耕作面積(アール)		
11	和田 ひろみ	農業	74	女	—	—	水稻	560	志和町第3	近所の農地が雑草地になっていくのを見るのが忍びない。 自分自身、ここ20年間で農地の購入や貸し借りなどで耕作地が増えている状況にある。 雑草地の少ない志和に住みたいと考えている。
12	森本 敏充	農業	54	男	H29.6.1～現在	農地利用最適化推進委員	露地野菜花き	600	黒瀬町第2	認定農業者の視点で、新規就農者の研修などを受け入れており、今後、就農者の農地確保に取り組みたい。
13	田中 正典	農業	73	男	H29.6.1～現在	農地利用最適化推進委員	水稻 露地野菜 施設野菜	80	八本松町第3	現在、農地利用最適化推進委員として活動しており、引き続き、地域の農地を守るため活動し、農地等の利用の最適化に取り組みたい。
14	井村 弘男	農業	66	男	—	—	水稻	256	福富町第1	定年退職を機に認定農業者の認定を受け、農業の規模拡大を行いたいと考えている。 農地利用最適化推進委員として活動していく中で農業委員をフォローし、農地利用の最適化に貢献したい。
15	大藤 和明	農業	77	男	H21.4.1～H26.3.31 H29.6.1～現在	広島県農業技術センター 農地利用最適化推進委員	水稻 露地野菜	80	高屋町第1	地域農業の活性化及び遊休農地の改善への取り組みを実施したい。

## (3)応募

整理番号	応募者									
	氏名	職業	年齢	性別	経歴(農業関係)		農業経営の状況		応募する地区	応募の理由
					期間	名称	當農類型	耕作面積(アール)		
16	正木 浩明	農業	63	男	H29.6.1～現在 R2.4.1～R6.3.27 R7.4.1～現在	農地利用最適化推進委員 中山間直接支払制度集落協定代表 JAひろしま豊栄町野菜振興協議会会長	水稻 露地野菜	237	豊栄町第1	平成29年から農地利用最適化推進委員として活動しているが、豊栄町は高齢化・過疎化が進み、離農・耕作放棄にブレークがかかる。 また、担当地域は典型的な中山間地域で耕作条件も悪く、新規就農者などが中々現れないのが実情である。 しかし、物価高騰などにより農産物の価格も徐々に見直されつつあり、これを機に新規就農者や農業企業の参入による移住者等、農業振興につながれば、と考えている。 より良い農地利用の実現に向け関係機関と連携し、推進活動を継続しながら農業振興に貢献したい。
17	土居 覚	農業	80	男	H15.4.1～H20.3.31 H29.6.1～現在	広島中央農協理事 農地利用最適化推進委員	水稻	213	豊栄町第1	平成29年から農地利用最適化推進委員として、担当地域の農地状況を確認してきた。 高齢化などにより、遊休農地が増えているが、その解消に向け、これまでの経験を活かし、地域農業を守りたい。
18	田村 香	農業	52	女	H20.6.1～現在 H29.6.1～現在	就農 農地利用最適化推進委員	水稻 露地野菜	614	豊栄町第3	今まで農地利用最適化推進委員として活動してきたが、担当区域内の農家の方と農業について意見交換することがとても嬉しく、自分自身学ぶところが多いと感じている。 今後も今まで以上に農業・農地について困っている方の少しでも力になれるよう、積極的に相談に乗り、農地利用の最適化に務めていきたい。
19	常田 武則	農業	69	男	H20.4.1～現在 R3.12.1～現在	就農 農地利用最適化推進委員	水稻	64	豊栄町第2	耕作放棄地の発生防止と新規就農者の参入促進に取り組み、農地利用の最適化に貢献したい。

## (3)応募

整理番号	応募者									
	氏名	職業	年齢	性別	経歴(農業関係)		農業経営の状況		応募する地区	応募の理由
					期間	名称	當農類型	耕作面積(アール)		
20	岡本 光彩	—	38	女	—	—	水稻 露地野菜	15	西条町第2	私は、5年前から畑作を、また、3年前から水稻を作っている。 農業を通じて地域の方々から多くのことを学び、農業への理解や繋がりが広がり、農業が交流の場となることを実感している。 一方で、周辺には耕作放棄地が増えており、農地が荒れしていくことを懸念している。 自分自身、農業を行うことの苦労や喜びを知ることができ、だからこそ、農地を守り次世代へ繋げていくことの必要性を感じており、耕作放棄地の発生防止と農業に关心を持つ人と営農が困難になった人とのパイプ役を担っていきたいと考えている。
21	平崎 朱美	農業	52	女	H5.4.1～ H12.3.31  H29.6.1～ 現在	JA広島経済連  農地利用最適化 推進委員	水稻 露地野菜	50	八本松町第2	農地利用最適化推進委員としてこれまでの経験を活かしながら、さらに知識を得てより幅広い活動を行い、地域の農地を守っていきたい。
22	清水 貴成	農業	59	男	H29.6.1～ 現在	農地利用最適化 推進委員	水稻	440	志和町第4	引き続き、農地利用最適化推進委員として農地利用の最適化に取り組みたい。

## (3)応募

整理番号	応募者									
	氏名	職業	年齢	性別	経歴(農業関係)		農業経営の状況		応募する地区	応募の理由
					期間	名称	當農類型	耕作面積(アール)		
23	池乃本 道治	農業	78	男	H26.7.22～H29.6.30 H23.7.1～R5.6.30 R2.6.2～現在	東広島市農業委員 広島県農業共済理事 農地利用最適化推進委員	水稻 露地野菜	150	西条町第1	東広島市に生まれ、50年以上農業に携わっており、ほぼ知らない地域はなくなった。 これまで培ってきた経験を活かし、農地利用最適化の推進活動に取り組んでいくことを決断した。 地域の農地が転用されたり、耕作されない農地が増えていく状況に驚きと寂しさを感じており、このことが農業全体にマイナスの影響が広がらないことを願っている。同時に、農業後継者の出現に尽力したいと考えている。 農地利用最適化推進委員として担当地域での担い手への支援や農地利用の最適化や地域計画の推進に取り組んでいきたい。
24	岡田 靖彦	農業	71	男	H27.10.17～現在 H29.6.1～現在	農事組合法人アグリタウン・東高屋理事 農地利用最適化推進委員	水稻 露地野菜	95	高屋町第1	この10年間、地域の農地を守るために、圃場整備事業へ参加するとともに、農業法人の設立に携わり、農地を守るために活動してきたが、高齢化による担い手不足等により遊休農地は増加している。 遊休農地の解消と地域をより把握するため、今まで農地利用最適化推進委員として活動してきた。 引き続き、委員として農地利用の最適化に取り組みたい。
25	森桶 茂和	—	58	男	H19.6.1～現在	もりしげ牧場株代表取締役	水稻	8	黒瀬町第3	農業に従事して38年となり、長年かけて習得した知識や技術を地域農業の持続的な発展のために農地利用の調整や担い手の育成に役立てたい。
26	森田 伸次郎	農業	71	男	R5.6.1～現在	農地利用最適化推進委員	水稻 露地野菜	40	黒瀬町第4	引き続き、農地利用最適化推進委員として、農地利用の最適化に取り組みたい。

## (3)応募

整理番号	応募者									
	氏名	職業	年齢	性別	経歴(農業関係)		農業経営の状況		応募する地区	応募の理由
					期間	名称	當農類型	耕作面積(アール)		
27	木原 英生	農業	70	男	R5.6.1～現在	農地利用最適化推進委員	水稻	25	高屋町第3	引き続き、農地利用最適化推進委員として、農地利用の最適化に取り組み、地域の担い手への集積・集約化の促進に努める。
28	山口 敏彦	農業	72	男	R5.6.1～現在	農地利用最適化推進委員	水稻	65	黒瀬町第1	現在、農地利用最適化推進委員として活動しており、地域農業の動向が少しずつ把握出来るようになった。 引き続き、委員として、農地利用の最適化に取り組み、地域農業の活性化に貢献したい。
29	森實 繁憲	農業	78	男	H19.12.1～現在 H29.6.1～現在	(農)竹仁の郷 理事 農地利用最適化推進委員	水稻	3120	福富町第1	同世代で後継者不足に悩んでいる人もおり、コスト削減できるよう、集落営農やグループ営農等の助言をしていく。 農業に興味を持つ若い人への農地マッチングに取り組むとともに、これまでの経験を活かして集落法人の立ち上げ等への支援と助言をしていく。 当法人の世代交代を進め、本市の地域計画に沿った規模拡大を行い、安定した経営を目指す。
30	山崎 亜弥	農業	35	女	R4.6.27～現在 R6.10.1～現在	就農(ネクストファーマーズ株式会社) ネクストファーマーズ代表取締役	水稻 その他	1,500	高屋町第4	現在、認定農業者であるネクストファーマーズ株式会社の代表として農業の大規模経営を行い、遊休農地の解消に努めている。 また、自分自身、地元出身で、女性・元JA職員・4児の母としての様々な視点から農地の課題解決に向けた具体的かつ現実的な助言等が行なえると考えており、これまでの知識と経験を活かし、農地利用の最適化と農業の発展に貢献したい。

## (3)応募

整理番号	応募者									
	氏名	職業	年齢	性別	経歴(農業関係)		農業経営の状況		応募する地区	応募の理由
					期間	名称	當農類型	耕作面積(アール)		
31	立川 万里子	農業	68	女	H26.6.30～H29.5.31 H30.7.1～R2.5.31 R2.6.2～現在	農業委員 農業委員 農地利用最適化推進委員	露地野菜	5	西条町第6	(農)かみみながに構成員として農作業に参加しており、自宅でも露地野菜を栽培している。 地域の農地を見回しても農業に携わる人たちを少ない。 もうしばらく農地利用最適化推進委員として地域農業の発展に貢献していきたい。
32	高尾 昭臣	農業	81	男	H25.9.7～現在 H8.7.1～H29.5.31 H29.6.1～R2.5.31 R2.6.1～現在	下三永農事組合法人代表理事 農業委員 農地利用最適化推進委員 農業委員	露地野菜	30	西条町第6	これまでの法人代表としての経験や農業委員・農地利用最適化推進委員としての経験・知識を活かし、担い手への集積・集約化や優良農地の保全等、農地利用の最適化に努めたい。
33	下崎 敏彦	公務員	65	男	S58.4.1～R2.3.31 R2.4.1～現在	農林水産省職員 農林水産省再任用	露地野菜 果樹	5	安芸津第3	40数年農林水産行政に携わって得た知識と経験を地域農業活性化に活かし、社会貢献したい。
34	河本 正信	農業	78	男	H22.6.1～R4.3.31 R6.4.1～現在	広島中央農業協同組合理事 JAひろしま八本松支店ふれあい	水稻 露地野菜	460	八本松町第1	現在、地域農業は大変な担い手不足となっており、現在、数件の農家から作業委託を受け、稲作を行っている。 農地が耕作放棄地にならないよう次世代に引き継ぎ農地を守っていきたいと考えており、その輪を若い人に地域全体に広げていきたい。

## (3)応募

整理番号	応募者									
	氏名	職業	年齢	性別	経歴(農業関係)		農業経営の状況		応募する地区	応募の理由
					期間	名称	當農類型	耕作面積(アール)		
35	山田 修平	農業	48	男	H28.5.20～現在 R2.1.1～現在	広島中央農業協同組合理事 JAひろしま八本松支店ふれあい	水稻 露地野菜	650	八本松町第3	地域農業が直面している課題は多様化している。 自身のこれまでの知識と経験を活かし、課題解決に貢献したいと考えており、特に新規就農者の支援や担い手育成、遊休農地の活用などに取り組みたい。 地域農業は単なる食料供給の場ではなく、地域の活性化などにも繋がる重要な存在である。今後、地域と協働して特産品のブランド化や地産地消の推進などにも取り組んでいきたい。 変化する農業ニーズに応えるため、常に新しい情報を取り入れ、柔軟な視点を持ち、地域農業の未来を切り開く挑戦を続けていきたい。
36	門藤 基世	事務	48	女	R5.6.2～現在	農地利用最適化推進委員	水稻 露地野菜	1,200	福富町第2	この3年間、農地利用最適化推進委員として活動する中で、担い手不足や農地管理の課題を強く感じてきた。 これまで築いてきた農家の方たちとの信頼関係と現場で得た知識を活かし、引き続き、地域農業の課題解決に努めたい。 特に新規就農者の育成支援や地産地消の推進など、地域農業の発展に繋がる取り組みに積極的に関わり、持続可能な農業の実現に貢献したい。
37	中安 玉守	農業	74	男	R5.6.2～現在	農地利用最適化推進委員	水稻 露地野菜 果樹	10	福富町第2	農業のヒトデ不足を解消するため担い手を確保し、現在の農業(水稻)の収量増と誰もが農業に参加できる体制に取り組みたい。 休耕地の解消のため農地の有効活用を図りたい。
38	友安 弘文	農業	64	男	H29.6.～現在	農地利用最適化推進委員	水稻	110	高屋町第2	遊休農地の発生防止・解消と地域農業の改善に取り組み、地域の活性化に引き続き取り組みたい。

## (3)応募

整理番号	応募者									
	氏名	職業	年齢	性別	経歴(農業関係)		農業経営の状況		応募する地区	応募の理由
					期間	名称	當農類型	耕作面積(アール)		
39	見越 邦明	農業	77	男	H29.6～現在 H13.4.1～現在	農地利用最適化推進委員 丁田地域農業集団代表	水稻 露地野菜 果樹	120	福富町第2	平成29年から農地利用最適化推進委員の委嘱を受け、これまで農地耕作の維持を願い努めてきたが、各地で耕作放棄地が点在している。 高齢化と後継者不足という厳しい状況が続いている中、引き続き、農地利用最適化推進委員として、少しでも農業者との話し相手となり、地域農業の活性化に貢献したい。
40	太田 猛	農業	75	男	H29.6～現在 H12.4.1～現在 H28.4.1～現在	農地利用最適化推進委員 市組中山間集落協定集団代表 市組新開資源保全会代表	水稻	400	福富町第1	農業従事者の高齢化が進み、農業を継ぐ後継者が少なく耕作放棄地が増えている。 このような状況の中、自身のこれまでの農地利用最適化推進委員としての経験を基に、地域の担い手への農地集積・集約化を推進することで遊休農地の減少に尽力していきたい。
41	荒谷 和則	農業	74	男	R5.6.1～現在	農地利用最適化推進委員	水稻	10	西条町第5	引き続き、農地利用最適化推進委員として担い手への集積・集約化に取り組み、遊休農地の発生防止に努めたい。
42	兵庫 章憲	農業	85	男	R2.6.2～現在	農地利用最適化推進委員	水稻	100	志和町第2	引き続き、農地利用の最適化に取り組み、地域農業の活性化に貢献したい。
43	三戸森 充	農業	64	男	R7.7.1.～現在	農地利用最適化推進委員	露地野菜	20	黒瀬町第3	最適化推進委員としての経験がまだ浅く、十分な活動が出来ていないため、引き続き、農地利用最適化推進委員として活動し、地域の農家の手助けをしていきたい。

## (3)応募

整理番号	応募者									
	氏名	職業	年齢	性別	経歴(農業関係)		農業経営の状況		応募する地区	応募の理由
					期間	名称	當農類型	耕作面積(アール)		
44	大石 勝彦	農業	68	男	H31.4.19～現在 R2.6.2～現在	東広島市土地改良区理事 農地利用最適化推進委員	水稻 露地野菜	280	西条町第3	今まで農地利用最適化推進委員を二期務めてきた。 引き続き、農地利用最適化推進委員として活動することで、地域農業の活性化に貢献していきたい。
45	赤迫 希	農業	47	男	H30.7.1～現在 R1.1.1～現在	芸南農業協同組合 就農	露地野菜 果樹	53	安芸津町第1	農地情報の提供や鳥獣害対策への提言のほか、農業構造改善事業の提起等に取り組み、現在の農業の状況を改善したい。
46	信長 敏行	農業	74	男	H29.6.1～現在	農地利用最適化推進委員	水稻	100	志和町第1	平成29年から農地利用最適化推進委員として活動してきた。 担当地域での担い手への農地利用の集積・集約化に引き続き取り組んでいきたい。
47	曾川 昌治	農業	74	男	S48.4.1～H23.3.31 H28.1.1～H31.3.31 R2.6.2～現在	東広島市職員 東広島流通センター 農地利用最適化推進委員	水稻	120	志和町第1	引き続き、農地利用最適化推進委員として、地域内の遊休農地の発生防止や解消のため、農地の有効利用の促進を図りたい。
48	甲斐 直樹	農業	40	男	R2.6.2～現在	農地利用最適化推進委員	露地野菜 果樹	250	安芸津町第1	引き続き、農地利用最適化推進委員として、地域農業の振興と活性化、荒廃農地の発生防止、新規就農者の支援に取り組みたい。

## (3)応募

整理番号	応募者									
	氏名	職業	年齢	性別	経歴(農業関係)		農業経営の状況		応募する地区	応募の理由
					期間	名称	當農類型	耕作面積(アール)		
49	山森 正	農業	80	男	H29.6.1～現在	農地利用最適化推進委員	露地野菜	70	安芸津町第1	平成29年から農地利用最適化推進委員として活動しており、引き続き、地域の農地を守るため活動し、農地等の利用の最適化に取り組みたい。
50	堀川 哲吏	農業	73	男	R2.6.2～現在	農地利用最適化推進委員	水稻	60	西条町第7	現在、農地利用最適化推進委員として2期務めてきたが、地域の農業・農地を取り巻く状況から、引き続き活動し、担い手への集積等、農地利用の最適化に貢献していきたい。
51	小幡 邦璽	農業	64	男	H11.4～R5.3 R5.6.1～現在	農区長 農地利用最適化推進委員	水稻	54	八本松町第1	長く農区長業務を担ってきて、少しでも地域農業を守っていきたいという気持ちになった。 自分自身、農業に従事する中、地域の方々と繋がり、米作りを続けていくことが大切であると考えている。 この思いを農地利用最適化推進委員として活動する中で次世代に繋げていきたい。
52	梶川 和幸	農業	76	男	H29.6.1～現在	農地利用最適化推進委員	水稻	110	黒瀬町第3	平成29年から農地利用推進委員として活動している。 地域の農業・農地を守り、次世代へ引き継ぐため、引き続き、農地利用の最適化に取り組みたい。
53	進藤 忠義	農業	80	男	H23.4.1～R2.3.31	農区長(高屋町郷)	水稻 露地野菜	93	高屋町第3	高屋町郷中川地区の農区長を10年務めた。 農業の担い手が減少する中、地域の農地保全に取り組みたい。